

2024年(令和6年)

1月26日 金曜日

発行:横浜市環境科学研究所  
〒221-0024  
横浜市神奈川区恵比須町1番地 遊潭ABCビルディング1号館 5階  
TEL:045-453-2550 FAX:045-453-2560

# 子どもいきいき生き物新聞



1画 ハッカチョウ生息地拡大, カブトムシ減った?増えた?, いきいき調査Q&A

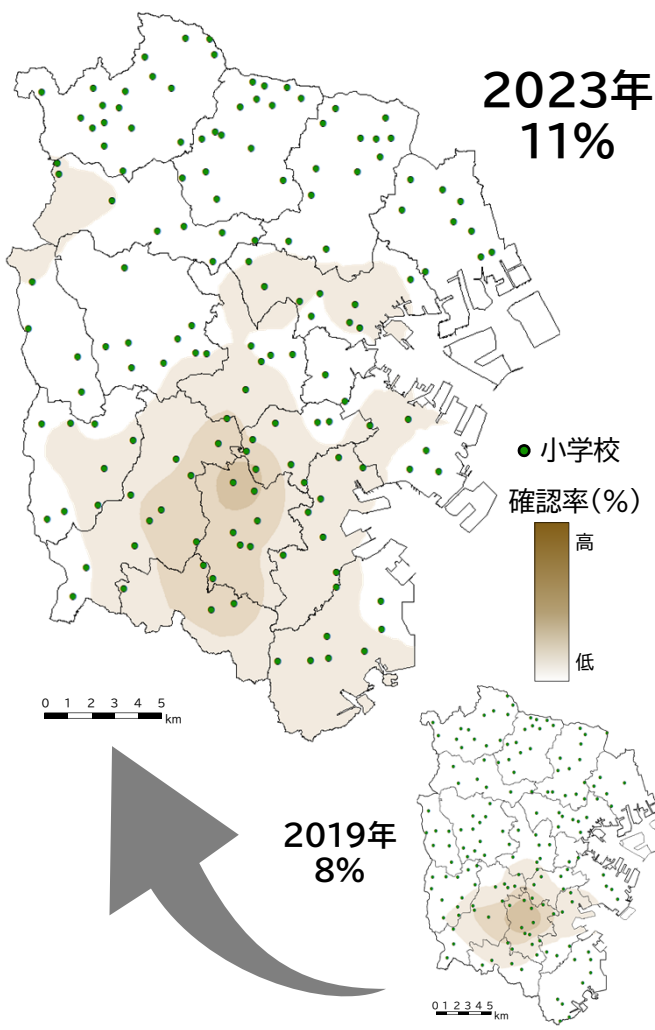
2画 2023年の調査結果, いきいきクイズ

## 教えて! いきいき調査? Q&A!

## 外来鳥のハッカチョウ生息地拡大

小学生の調査で  
実態明らかに

- Q** 子ども「いきいき」生き物調査ってなに?  
**A** 横浜市立小学校の5年生を中心に、1年間に家や学校の近くで見つけた生き物を報告してもらう調査です。
  - Q** どんな生き物を調査しているの?  
**A** 見分けるのがかんたんで、分布にかたよりのあるものや、増えたり減ったりしそうな生き物から、毎年選んでいます。
  - Q** 結果はどうやってまとめたの?  
**A** 生き物ごと・学校ごとに見つけた割合(確認率)を求め、地図上に色の濃さで確認率の高低が分かるように表しました。※1
  - Q** なんで調査するの?  
**A** 横浜市内の生き物の生息情報を広く集めるためと、子どもたちに地域の自然や生き物に関心を高めてもらうためです。
- ※1 作図には1校あたりの回答数が10人以上の149校のデータを使用し、GISソフトを用いたKriging法により、空間補間を行いました。

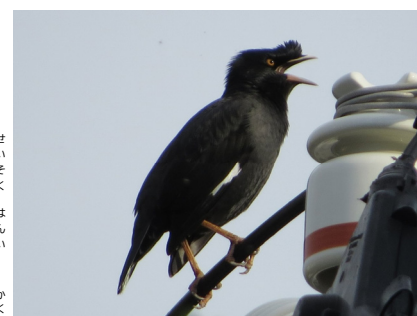


環境科学研究所では、横浜市立小学校340校の小学生を対象に、家や学校の近くで見つけた生き物を報告してもらう子ども「いきいき」生き物調査を実施しています。2013年からはじめ、2023年で11年目、10回目の調査になります。

最近になって増加か? ハッカチョウは江戸時代の屏風絵に描かれ、古くから親しまれてきたようですが、飼われていたものが逃げ出すなどし、国内数か所で見られる外来種です。地域によっては鳴き声やフンにより害鳥とされています。

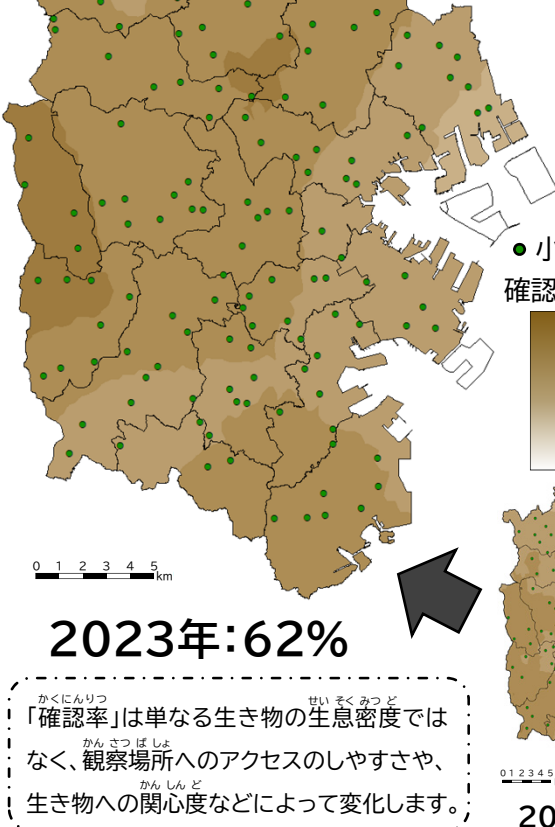
横浜市内では1976年に初めて見つかり、45年以上経過しています。見られる地域が限られています。定着した場所では集団で見られることもあります。

しかし、2019年から今回にかけての結果では、色のついた範囲が広がっており、



▲電線にとまるハッカチョウ (保土ケ谷区)

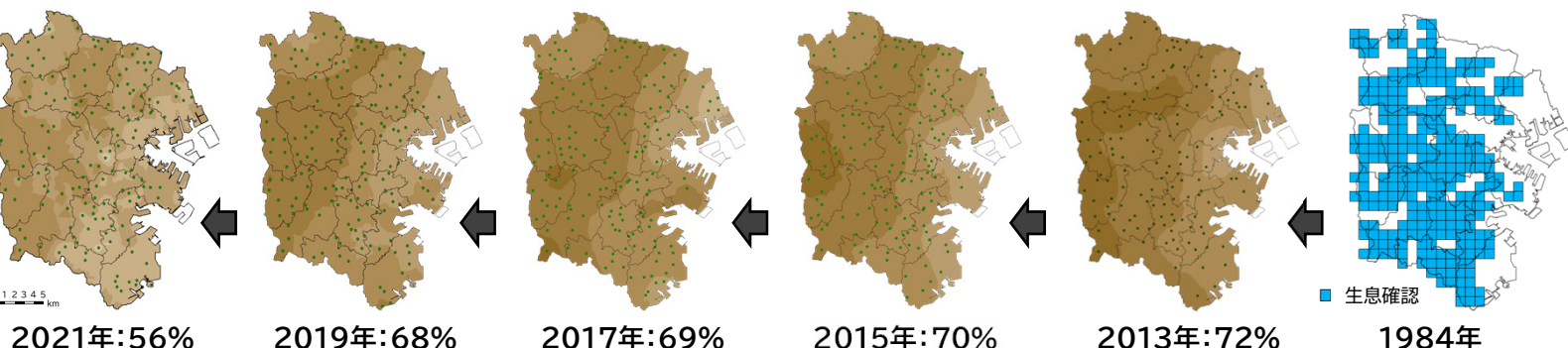
## カブトムシ減った? 増えた?



▲市西部で確認されることが多いカブトムシ(緑区)

子ども「いきいき」生き物調査では2年に一度カブトムシの調査をしています。2013年以降、カブトムシの市全体の確認率は少しずつ減っています。特に前回2021年には56%と大きく減少し、コロナ禍による行動自粛が影響したものと思われまます。今回の確認率は62%とやや増えましたが、2019年以前と比べると少ないようです。市西部の確認率が高く、東部の臨海都市部で低い傾向は、これまでと同じでした。

近年はナラ枯れという木の病気が流行していて、餌となる樹液が出ている木が増え、カブトムシを見つけやすかった可能性があります。一方で、暑い夏にはカブトムシが少ないとされていることから、今年は猛暑の影響があったのかもしれない。里山を代表する生き物として、これからの変化に注目です。



**まだまだやります!**  
みなさまに愛されて10回目の調査!

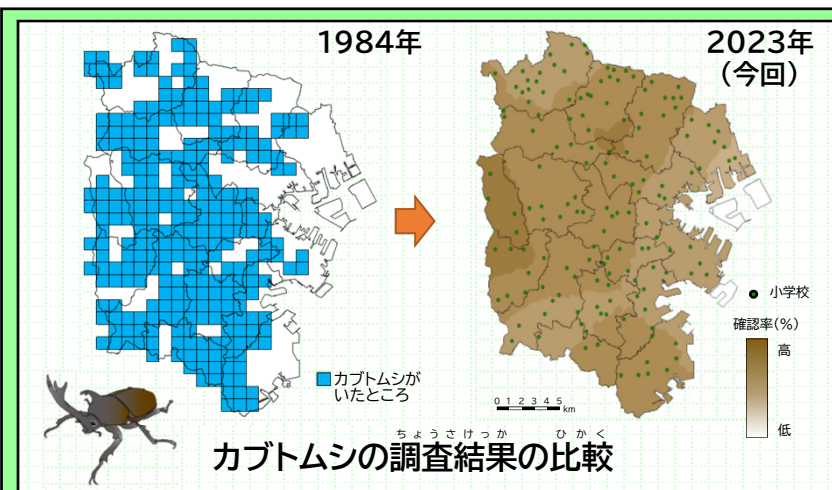
2023年度は **160校**、**10,061人**が参加してくださいました!

結果の詳細は、報告書として横浜市環境科学研究所Webページに掲載しています。

二次元コードからもアクセスできます

横浜市 子どもいきいき

検索



**実は40年前にも...**

横浜市では1984~1991年にも、当時の小中学生、高校生を対象に、アンケートによる生き物調査を行いました。

1km四方あたりに1つでも確認情報があれば色を付けるしり方など、現在の調査とは異なる点もありまます。当時の状況を知る貴重な資料であり、報告書で比較を行っています。



**注意**

**ツバメが減っている!?**

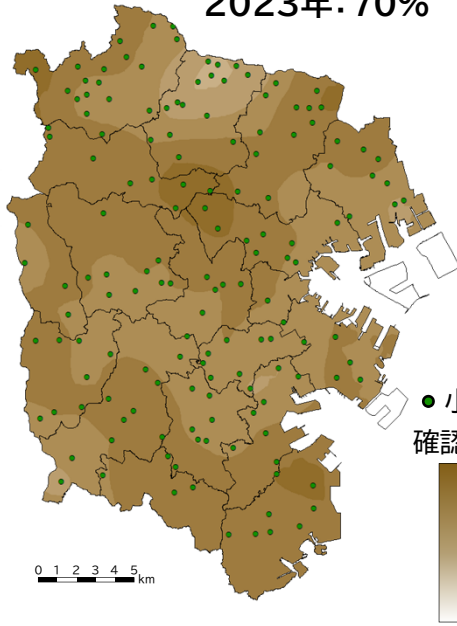
2013年に「こどもいきいき」生き物調査を開始して以来、ツバメは毎年調査しています。2019年まで全体の確認率は73~78%で推移していましたが、2021年は67%と大きく減少し、コロナ禍での行動自粛が影響したと思われる。2022年と今回の確認率は70%とやや増えましたが、2019年以前と比べ低いままでした。

旭区周辺に確認率が高い地域があること、都筑区周辺に低い地域があることなど、多くの年で共通した特徴が見られており、今回はよく見られる地域がやや北東側へずれましたが、大きな傾向は変わりませんでした。国内ではいくつかの調査でツバメが減少しているという報告があり、今後も継続して調査をしていきます。

これまでのツバメの巣の確認率

調査年	市全体の確認率
2013	77%
2014	78%
2015	76%
2016	75%
2017	77%
2018	76%
2019	73%
2021	67%
2022	70%
2023	70%

2023年:70%



▲ツバメは全国的にも減っているとされている。(緑区)

**感謝状**

貴校はこども「いきいき」生き物調査2023に参加され、横浜市の生き物生息情報の収集に尽力されました。よってここに深く感謝の意を表します。

- 【鶴見区】市場小けやき分校・入船・岸谷・駒岡・汐入・獅子ヶ谷・末吉・鶴見・豊岡
- 【神奈川区】青木・幸ヶ谷・子安・菅田の丘・中丸・羽沢・二谷・三ツ沢・南神大寺
- 【西区】東一本松・西前・平沼
- 【中区】北方・本牧・本牧南・間門
- 【南区】石川・永田・日枝・藤の木・別所・南・南太田・六つ川台・六つ川西
- 【港南区】港南台第一・下永谷・下野庭・芹が谷南・野庭すずかけ・日野・日野南
- 【保土ヶ谷区】坂本・桜台・初音が丘・仏向・星川
- 【旭区】市沢・川井・笹野台・さしが丘・鶴ヶ峰・中尾・東希望が丘
- 【本宿区】南本宿・左近山
- 【磯子区】汐見台・滝頭・根岸・梅林・浜・屏風浦・洋光台第一
- 【金沢区】金沢谷・金沢谷東・小田・並木第四・並木中央・西柴・能見台南・西金沢学園
- 【港北区】大首根・北綱島・小机・篠原西・新吉田第二・高田・網島東・新田・新羽・日吉台・日吉南・箕輪
- 【緑区】鴨居・竹山・十日市場・長津田・長津田第二・中山・東本郷
- 【青葉区】青葉台・あざみ野第二・美しが丘東・櫻が丘・恩田・桂・鴨志田第一・鴨志田緑・鉄・黒須田・嶮山・さつきが丘・新石川・奈良・奈良の丘・東市ヶ尾・みたけ台・もえぎ野・元石川
- 【都筑区】牛久保・荏田東第一・荏田南・折本・川和・川和東・北山田・すみれが丘・茅ヶ崎・都田西・都筑・つぎの丘・東山田・南山田・山田
- 【戸塚区】秋葉・柏尾・境木・大正・戸塚・東戸塚・東保野・平戸・深谷・南戸塚・南舞岡・矢部
- 【栄区】小菅ヶ谷・小山台・桜井・千秀・本郷・本郷台
- 【泉区】飯田北いちよう・いずみ野・岡津・上飯田・葛野・下和泉・新橋・中和田南・東中田
- 【瀬谷区】阿久和・上瀬谷・大門・原・三ツ境(全160校)

**いきいき クイズ**

落ち葉に隠れるチョウはどこだ!?

デンクチョウ

時期:5月~11月  
 幼虫のえさ:エノキ(木)  
 生息環境:里山の林など

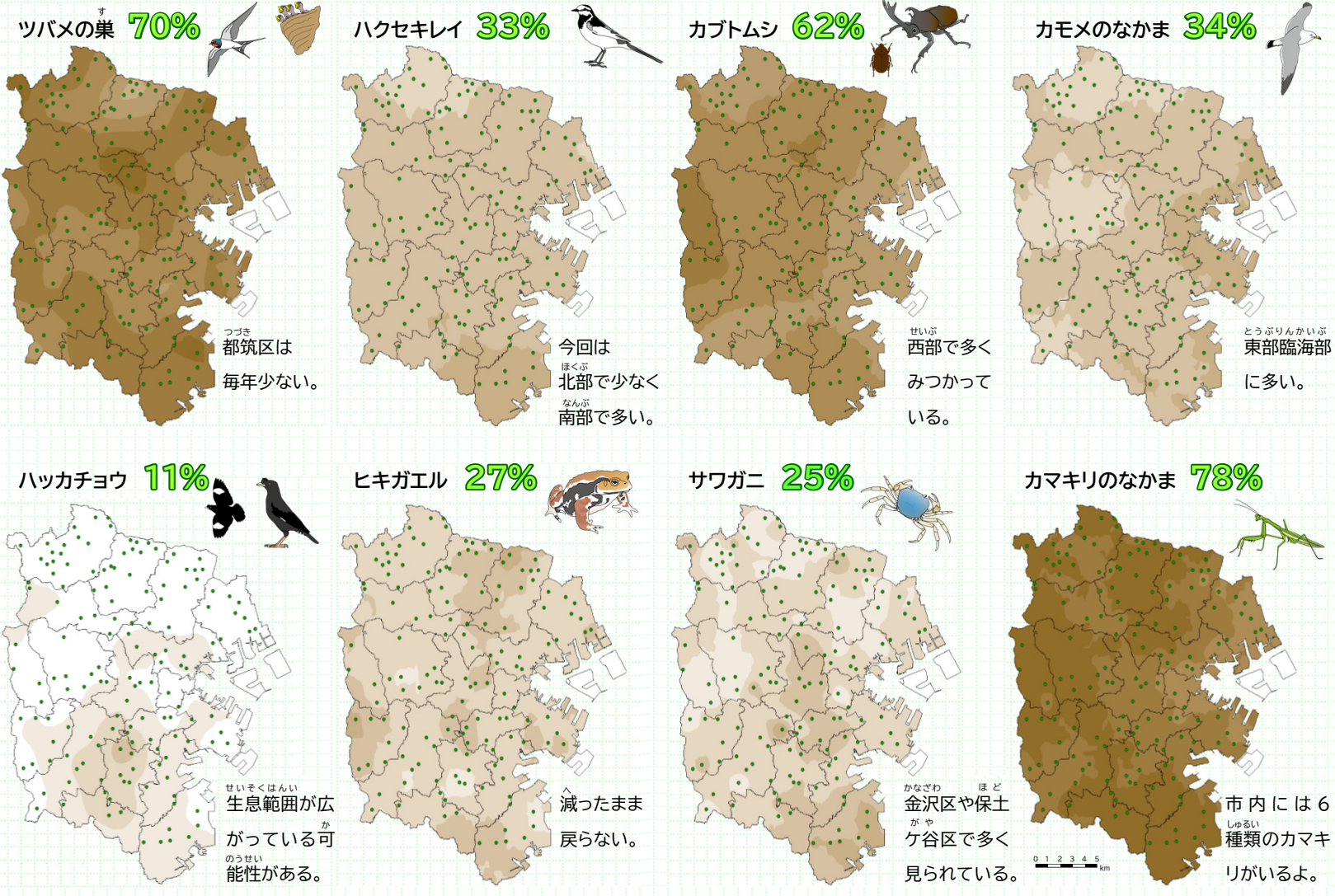
敵に食べられないように枯れ葉などにまねて隠れることを擬態といいます。生き物たちの命がけのかくれんぼを見破れるかな?

答えはこのページの左下にあるよ!

**2023年の調査結果**

※数字(%)は市全体の確認率を示しています。

色の濃淡は、小学校ごとの確認率をもとに統計的に計算、作図したものです。一部のふ頭などは解析対象外としました。



**いきいき クイズ 答え**

正解はココ!  
 「デンクチョウ」の擬態みんなは分かったかな?

**横浜の生き物がよくわかる!** ハンドブックをもって 横浜の自然へくりだそう!!

無料ダウンロード

横浜市内で見られる生き物を 中心に86種類を紹介!

生き物を探すヒントがいっぱい!  
 「オタマジャクシの青比べ」で違いを見てみよう!  
 「セミの抜け殻」で何のセミかを調べよう!  
 ハンドブックで確かめてね!

お買い求めは市政刊行物・グッズ販売コーナー(横浜市庁舎3階)、ズーラシアのギフトショップで!

**よこはまのいきものハンドブック** 500円(税込)